南幌町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

南幌町は平成10年以降、人口の減少及び高齢化率の上昇が続いていたが、近隣都市部のベットタウンとして、子育て世代の移住者が増加し、令和5年5月からは前年同月と比較し人口増が続いている。
交通空白地域の解消をり、既存の幹線系統と接続すること及び高齢者や車を交通手段としない子育て世代や子ども達など、交通弱者の生活の足を確保することを目的として、令和3年10月より、町内巡回バスを廃止し、利用者の需要（デマンド）に効果的に対応するため、AI配車システムを搭載したオンデマンド交通に交通体系を変更し、住民の生活交通手段を確保している。

地域公共交通の現況

・北海道中央バス（株）（町内2路線）
・ジェイ・アール北海道バス（株）（町内2路線）
・夕張鉄道（株）（町内2路線）
・スクールバス（町内3路線）
・オンデマンド交通「あいるーと」（車両2台）

協議会開催状況

〇令和3年6月9日
（令和3年度第1回南幌町地域公共交通活性化協議会）
協議内容：南幌町生活交通確保維持改善計画(案)について
〇令和3年7月21日【書面開催】
（令和3年度第2回南幌町地域公共交通活性化協議会）
協議内容：南幌町自家用有償旅客運送の申請について
〇令和4年1月11日【書面開催】
（令和3年度第3回南幌町地域公共交通活性化協議会）
協議内容：令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
〇令和4年6月21日
（令和4年度第1回南幌町地域公共交通活性化協議会）
協議内容：南幌町生活交通確保維持改善計画(案)について
〇令和5年1月10日【書面開催】
（令和4年度第2回南幌町地域公共交通活性化協議会）
協議内容：令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

生活交通確保維持改善計画の目標

年　度	1日平均利用者数	満足度
令和4年度	20人／日	90.0%

令和４年度事業概要

運行系統名：南幌町オンデマンド交通区域
運行区間：南幌町内
運賃：大人300円、子ども100円
事業概要：効率的な運行を実現するため、AI配車システムを搭載した「オンデマンド交通（あいるーと）※車両2台」による「ドアtoドア」の運行を令和3年10月より運行。

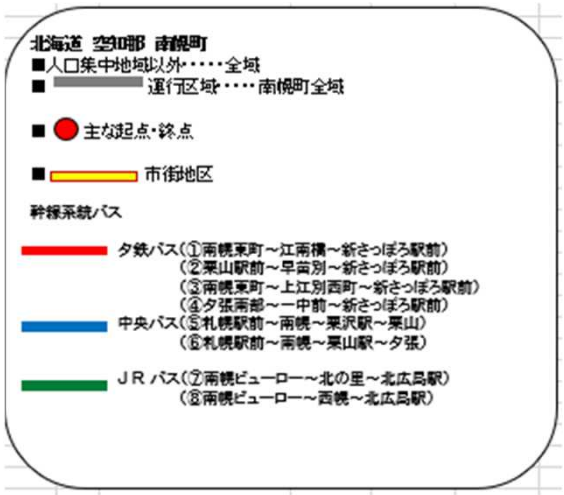
令和４年度事業の実施状況

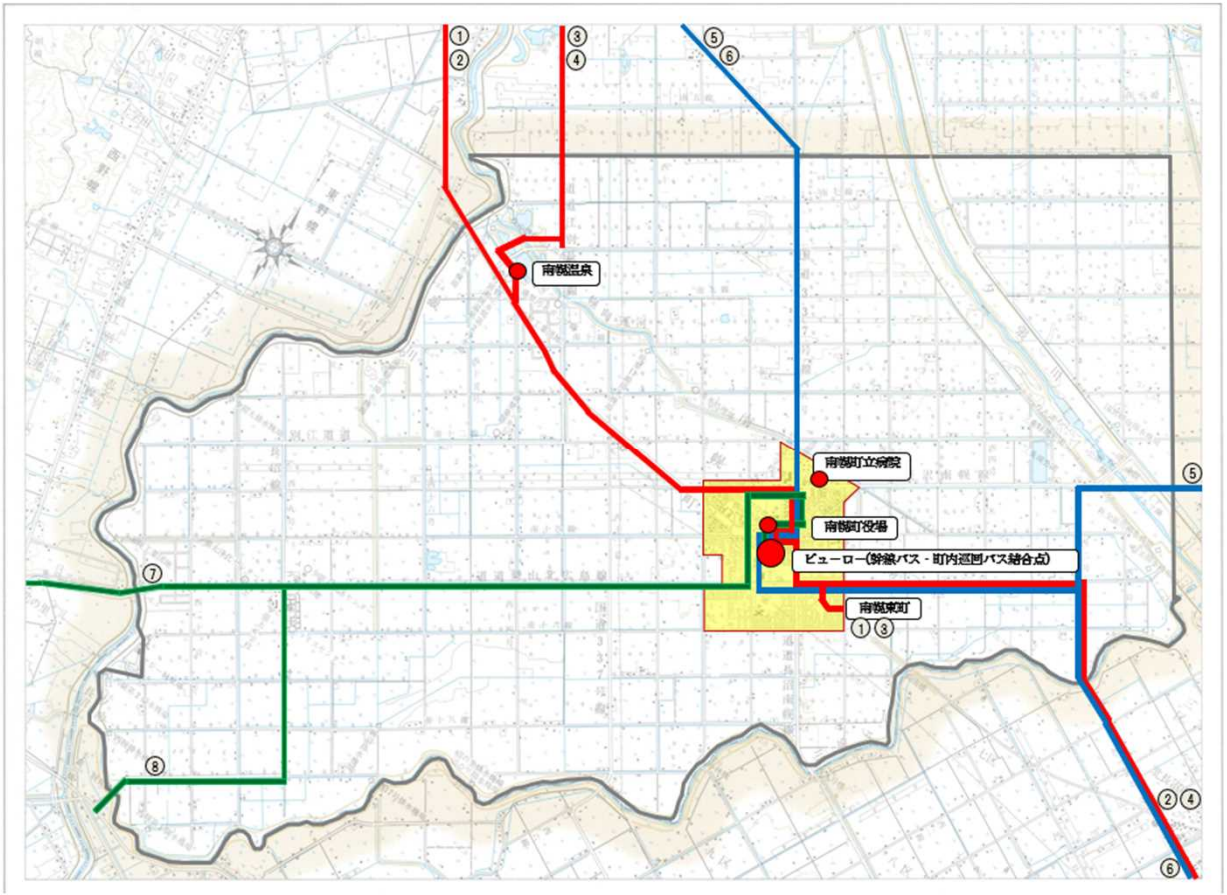
１）プロセス、創意工夫

平成14年度　町内巡回バス運行開始
令和3年9月　町内巡回バス廃止
令和3年8月～9月　オンデマンド交通「あいる一と」プレ運行
・町内団体向け試験運行（8月）
・週1回　一般予約による試験乗車（乗車料金無料）

令和3年10月　オンデマンド交通「あいる一と」　運行開始
令和4年　3月　利用者アンケート（満足度等）

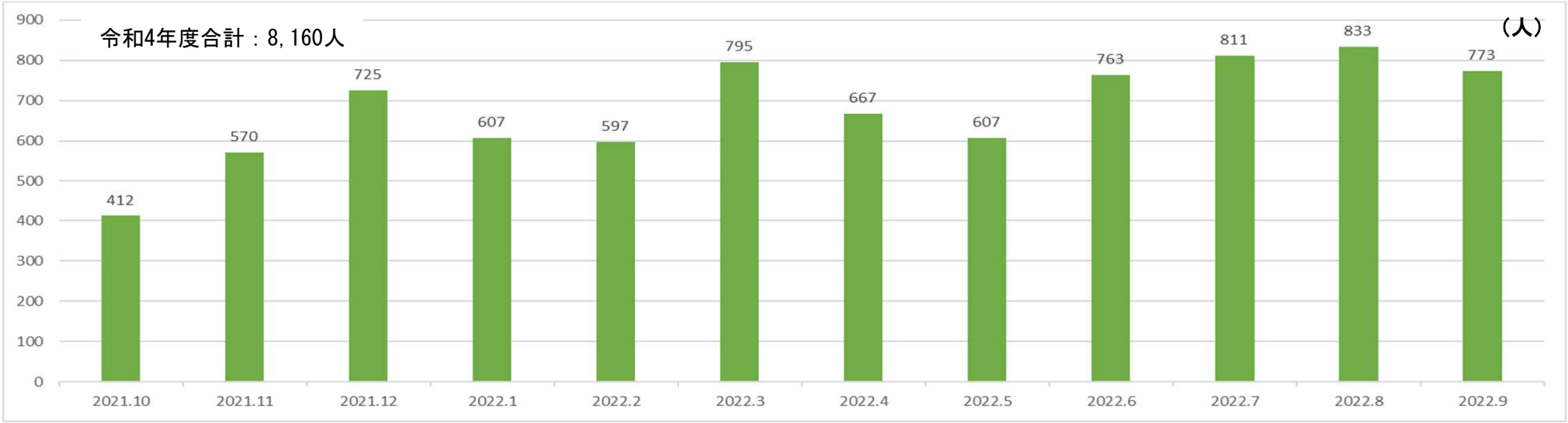
２）運行系統





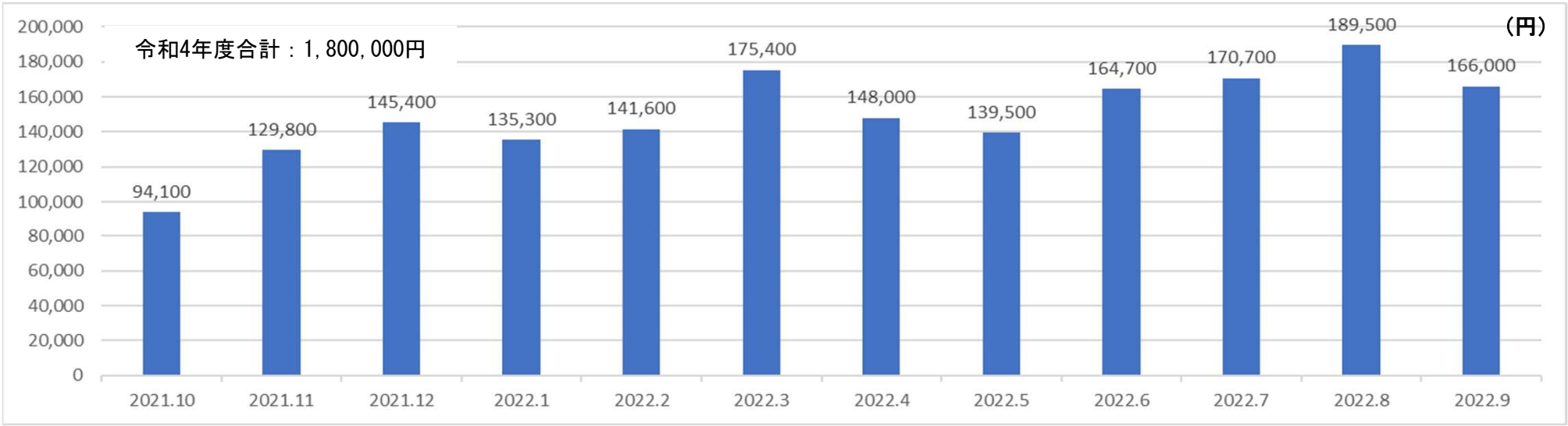
３）利用実績

※令和４年度運行開始のため前年度との比較はありません



４）収入実績

※令和４年度運行開始のため前年度との比較はありません



5）事業実施の適切性

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

※運行実績としては、悪天候（吹雪等）による一部運休はあったものの、予定通りの運行を行うことができた。

6）目標・効果達成状況

【目標達成状況】
①目標値（1日平均利用者数）20人に対し、実績は33．5人で、目標値を上回った。

②目標値（満足度）90％に対し、実績は91％で、目標値を上回った。
※3月アンケート実施

【効果達成状況】
高齢者を中心とした、交通弱者の生活の足の確保と、路線バスとの接続及び交通空白地域の解消が図られた。

7）事業の今後の改善点

運行初年度である令和4年度は、事業の周知と利用者ニーズに則した運行体系の定着化を意識した運行を行った。悪天候等もあり冬期間の利用者数は一時伸び悩んだものの、その他は順調に利用者数も増加し、令和4年3月に実施した満足度調査では91％の利用者がオンデマンド交通「あいる一と」に満足していると回答した他、「お迎えや到着の時間」についても、100％の利用者が「ほぼ時間通り」と回答するなど、大変高い満足度となっている。
今後の改善点としては、新たな利用者の発掘と利用者数の増加を図るため、引き続き事業の周知を行う他、町民へのアンケート調査等を実施し、ニーズに即した運行体系を検討する必要がある。

【実施内容】
・広報誌やSNS等を活用した事業周知
・町民ニーズを把握するための調査（満足度調査）
・新たな運行体系の構築に向けた検証、協議

8）地方運輸局における二次評価結果

- 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- AI配車システムを搭載したオンデマンド交通への運行体系の変更による利便性の向上等により、目標値を上回っており、今後新たな目標を設定するにあたっては、持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。
- 今後も継続的に維持していくために、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。